

## 山ぼうし

第40号 平成20年 7月25日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、花も実も 蒼天に立つ 山ぼうしの碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



## きく、聞く、聴く

## 校長 兼 平 栄 補

「社会人基礎力」、「人間力」など就職先での「基礎力」を身につけさせるのが狙いで文部科学省、厚生労働省や各種研究機関から様々な提示がなされている。

リクルート社が発行している「キャリアガイダンス」誌はそれらを参考にしながら11の「力」をピックアップし、高校生の「人気20職種」に就いている人達に、「必要な力」と思われるものベスト5をそれぞれ選んでもらった。その11の指標（力）は、外国語力、発信力、傾聴力、協働力、課題発見力、計画力、実践力、創造力、倫理観、専門知識、統率力である。回答者は公務員、保育士、技術者、看護師、自動車整備士、パティシエ、タレントなどの人気20職種である。

さて、これらの「力」の中で最も多くの方が上位に挙げた「力」とはどれであろうか？

集計の結果、最も高得点をマークしたのは「傾聴力」だった。傾聴とは、耳を傾けて聞くこと、熱心に聞くことである。これを1位に挙げた職種は、保育士、看護師、タレント、介護福祉士、営業職、弁護士の6職種、ベスト5全体を見ても、20職種中16職種の職業人が「傾聴力」を挙げている。

「傾聴力」以下は、2位「課題発見力」、3位「専門知識」と続くが、「傾聴力」と並ぶコミュニケーション能力とも言える「発信力」は、11指標中7位。人を引きつけるような話しぶりや心に響く訴え方ができる人は、確かに目立つし、一目置かれることも多

い。しかし、実は、多くの職業人が「話す」ことより「聴く」ことの方が大切だと答えている。

先日、2年生のLHR時に行われた外部講師の講演に同席する機会があった。ほとんどの生徒は耳を傾けていたが、私の前にいた生徒は、端から聴く気が無いように居眠りを決め込んでいる。何度か注意したがその度に迷惑そうな素振りをする。その生徒の斜め後ろでは、感想文の用紙に人の顔らしきものを落書きしている。傾聴とはほど遠い行為である。日常の授業中も同様の状態ではないのかという恐れにも似た危機感を感じた。

そもそも大人の話をしっかり聞く行為は幼少の頃に身に付けるものであって「躰」である。人の話を聞かないのは、話し手に失礼であるという理屈は、大きくなって理解することである。

教育は、生徒達に語りかけることから始まるのであってみれば、その教師の語りかけを生徒達が聞いてくれなければ、授業が成立しない。教師と生徒のコミュニケーションの繰り返し、信頼関係を形成する基盤であり、授業という形態の基本である。

今強く求められることは、「聞く」という行為が、人間の言語活動の中で最も根源的で、最も重要なものであるということを改めて学校全体で認識し、聞いてよかったという実感が持てる教育活動を展開することだと思われる。

## 8月行事予定

8月18日（月）	休み明け試験 安全の日
19日（火）	身長・体重測定
20日（水）	進路推薦会議
21日（木）	服装・頭髪検査



# 鮭繁殖組合より太鼓部・工作部に寄付

去る6月8日の総会の正式決定を経て、津軽石川鮭繁殖組合から本校PTAと同窓会に寄付を頂戴いたしました。昨年は史上2番目の豊漁ということで本校評議員の中嶋さんから紹介いただき、今回の寄付の実現となりました。校内で協議し、活動に支障をきたしている太鼓部と工作部の申請となりました。今後の部活動に役立て、更なる活躍を期待したいものです。鮭繁殖組合の皆さんに感謝申し上げます。生徒の声や今後の活動についての抱負を紹介し

## ＜ 工 作 部 ＞

寄付を有難うございました。上位チームの使用するモーターを購入することができます。これまで工作部では車両の設計・工作方法・使用する材料、バッテリーの充電など様々な工夫を重ね、限られた予算の中、軽量で空気抵抗の小さい車両を製作してきました。その結果走行小記録は毎年向上し、08年大会では64kmを達成できましたが、10年以上も前に設計されたモーターでは能力不足となっていました。寄付により購入するモーターは、トップチームも使用し、好成績を残す高性能なモーターであり、大いに期待しています。現在、これまでの製作方法を基にカウル製作等の新しい車両の製作に挑戦中です。来年の大会では、新しいモーターと新しい車体で記録更新と上位進出を目指したいと思います。



## ＜ 太 鼓 部 ＞

津軽石川鮭繁殖組合から太鼓3本と脚を寄贈して頂きました。頂いた太鼓を活用し、演奏力の向上とともに各種イベントで活躍したいと思います。ジュニアコンクールの優勝に向け、日々の練習に励みたいと思います。心よりお礼を申し上げます。太鼓部は、本校30周年を記念して発足し5年目を迎えます。「宮工一心太鼓」として現在13名で活動しています。今年度は宮古市からの依頼により、盛岡市の物産展に参加し、宮古市の宣伝の一助を担うこともできました。例年20回程程度のイベントに参加しています。夏祭りを始めとして、様々な場所でお目にかかるかもしれません。「宮工一心太鼓」を見かけましたら、ご声援をお願いいたします。



# 第30回全国高等学校野球選手権記念岩手大会

6月26日(木)盛岡市都南文化会館「キャラホール」において抽選会が行われ、本校は、予備抽選で後半のくじを引き、主将藤岡(F3:河南中)の「宮古工業高校、67番です。」という一言で会場は、どよめきました。68番は同地区の宮古高校。中学時代お互いに切磋琢磨した仲間との対戦となりました。その日から「打倒宮古高校」を掲げ、生徒一丸となり練習に励み、チームは順調に仕上がっていききました。

決戦の日、7月11日岩手県営球場第3試合、本校は後攻をとり試合開始。1・2番を順調に打ち取り、予想通りの展開かと思った矢先、連打を浴び5点という大量失点をしてしまいました。その後もリズムをつかめず、あっという間に16失点で5回コールドという結果になってしまいました。試合後、多くの大会関係者から「接戦になると思っていたけど・・・」というお言葉を頂きました。

「甲子園には魔物もが住んでいる。」という言葉があります。その言葉のように野球は「実力=点差」があてはまらない競技の一つであります。結果的には大敗となってしまいましたが、決してそれだけ力の差があったわけではないのです。しかし、この力を充分に発揮できなかった試合を胸に、後輩達、そして顧問団一丸となって次の大会に挑んでいきたいと思

高校野球で培った精神は、3年生全員



の心の中に育っていると思います。「苦しさを乗り越える力、努力する姿勢、そして、仲間と共に喜びを分かち合える心」は、今後の人生に大きく役立つと思います。最後に、本校野球部に多大なご支援、ご協力を頂いた保護者の方々、OBの方々、そして、我が野球部を応援してくれた地域の方々、感謝を申し上げます。

